

平成 28 年度千曲市防災会議 議事録

1. 日時

平成 29 年 2 月 7 日（火） 午後 2 時

2. 会場

千曲市役所更埴庁舎 講堂

3. 会議日程

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 協議事項
- (5) その他
- (6) 閉会

4. 協議事項

防災計画の修正について

5. 出席者

<委員>

黒崎 弘、上野 忠良、宮崎 忠久、木村 智行、井川 清海、太田 幸彦
中山 聖、山本 高明、小根澤 英児、上條 優、宮入 明美、半田 敏幸
柳町 幸夫、臼井 満芳、鈴木 邦彦、塚原 弘昭、宮澤 尚満、倉島 昭
荻原 美智子、春日 和子、島田 美知子、渡島 港一、牧 忠男、
柳澤 良一、山田 青治、宮原 剛士

<事務局>

小林総務部長、荒井危機管理防災課長、吉池防災係長、小田切消防係長、
松本、宮本

6. 欠席者

<委員>

赤地 憲一、飯島 健司、島谷 正行

<事務局>

小山、高木

7. 会議要旨

次 第	担当(発言)	内 容
協議事項	防災係長	<修正事項説明>
質問	上條委員	ページ毎にタイトルの右下に、〇〇課、〇〇部と記載があるが、課と部の違いはなんですか。統一の表記にした方がよろしいのではないのでしょうか。
回答	危機管理防災課長	ご指摘いただいた箇所ですが、災害前は〇〇課、災害対策本部設置後は〇〇部という表記となっております。
質問	渡島委員	9月に大雨に伴い避難準備情報が発令されましたが、発令された際に要配慮者のいる世帯では、どのような行動をとればいいのでしょうか。
回答	危機管理防災課長	大雨により土砂災害警戒情報が発表されますと、市の対応としては、まず避難準備情報を発令しなければなりません。9月の際には市内で8,000世帯以上という非常に大規模な範囲に避難準備情報を発令したわけですが、現在、区長、民生委員さんにご協力いただき、市が取り組んでおります千曲市災害時避難行動要支援者名簿をご活用していただき、まずは、近隣への声掛け、安否確認などしていただきたいと考えております。市としても今後どのように活用していくのがいいか検討していきます。
進行	副市長	<p>ただ今提案いたしました千曲市地域防災計画の修正についてお諮りをいたします。承認をいただける委員の方は挙手をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><一同挙手></p> <p>挙手多数と認め、ご承認をいただきました。本日ご承認いただきました地域防災計画に付随いたします「資料編」につきましては、必要な修正を加え、また、地域防災計画の修正に伴いまして、一部修正が必要となる「千曲市水防計画」についても、事務局が責任を持って修正いたしますので、併せてご了解をいただきたいと存じます。</p> <p>以上で、本日のご審議いただく議案は終了ですが、せっかくの機会ですので、最近の地震の動向について、専門家のお立場から塚原先生に少しお話をお願いできないでしょうか。</p>
お話	塚原委員	<千曲市の防災に関するお話>

質問	牧委員	千曲市では大雨の際に千曲川の水位を杭瀬下観測所で計測していると思いますが、戸倉などの上流の水位はどのように計測しているのですか。
回答	危機管理防災課長	そちらの質問に関しては、私から回答させていただきます。上田市の生田観測所で水位の上昇があった際、1時間から1時間30分程で千曲市内の千曲川の水位も上昇しますので、戸倉付近の水位に関しては生田観測所を基準に判断しております。
質問	牧委員	ありがとうございます。千曲川河川沿いの堤防はどれほどの雨量に耐えられるのですか。また、雨量計の置いてある場所以外の雨量情報はどのように取得すればいいのですか。
回答	黒崎委員	100年に1度と言われる大雨に耐えられる堤防作りを目指しております。しかし、それ以上の大雨が降るという場合も考えられるため、堤防の強化だけでなく、どのように避難をすべきかという点においても重点を置き考えております。
	上野委員	レーダ雨量計により雨量計の置いてない場所でも精度の高い雨量観測できるようになっております。
進行	副市長	塚原先生には、貴重なお話を頂きましてありがとうございました。ただ今のお話を参考に、今後の防災対策に取り組んで参りたいと思います。本日は、平成28年度千曲市防災会議を開催いたしましたところ、ご提案申し上げました案件につきまして慎重にご審議いただき、原案のとおりご決定、ご承認を賜り、ありがとうございました。